

英語を楽しく

☆トイレに行きたくなったら、「トイレはどこですか。」と聞いちゃダメ？

“Where is the toilet?”

と言うとまさに「便所はどこですか？」聞くことになり、下品な感じになる(注)。「からだそうです。では、その代わりになんていうのでしょうか？」

1. Where is the bathroom?
2. Where is the men's room?
3. Where is the ladies' room?
4. Where can I freshen up? (女性のみ使うことができます。)
5. Where can I wash my hands? (男女とも使えます。)



などの表現があります。しかし、・・・。



(注) アメリカの家庭ではトイレがたいてい浴室内に設置されているので、bathroom が toilet の婉曲的な表現となります。ですから、「bathroom」という単語を使うのです。ですが、イギリスの家庭ではトイレと浴室とが別々に設置されているのが普通なので、トイレを借りたい時に “Where is the bathroom?” は使えません。イギリスでは “Where is the toilet?”

トイレを表現する他の単語に restroom もあります。これもアメリカでは婉曲的表現で(レストラン・劇場などの)お手洗い、化粧室のことです。「英語を楽しく」の筆者は25年前にハンガリーでしたかスイスでしたか忘れましたが、小学校訪問した際にトイレに行きたくなり、生徒に

“Where is the restroom?”

と聞いたところ、本当に休憩室に案内されました。それなら最初から

“Where is the toilet?”

と聞けばよかった、と思ったものでした。restroom と聞かれた生徒たち、きつと変な人思っただろうなと今でも思い出します。

どうやら toilet の単語を下品と見なすのはアメリカだけのようです。

トイレの表現にもうひとつ lavatory という単語もありますが、この単語はやや古風な単語で公共の洗面所、お手洗いを意味します。現在では、飛行機内にある toilet を表現するために使われています。